

YOSHI KEN NEWS

ヨシケンニュース

子どもたちの成長を支える

児童発達支援施設づくり

子どもたちの成長と地域に愛される、
環境配慮型の園舎づくりを大切にしています。



(福) 萬徳寺保育園 児童発達支援事業所あおば

木の温もりを活かした園舎

地域産材を使用した自然素材の空間は、子どもの安全・安心感を育み、集中力とコミュニケーション力を高めます。

44施設の実績（新築・増築・改修）

保育園 / 認定こども園 / 病児保育園 / 児童発達支援施設 / 子育て支援センター / 学童保育 / 産後ケアハウス / 親子カフェ

38法人との協働

地域に根ざした児童福祉施設づくりを実践してきました。
社会福祉法人 / 学校法人 / 医療法人 / NPO 法人等



貯木場(杉・檜)
地域産木材の活用を提案



プレカット工場
木材の検査の徹底(品質管理)



工事現場
材木が丁寧に組み上げられた上棟式の様子

これから求められる 児童発達支援施設づくり

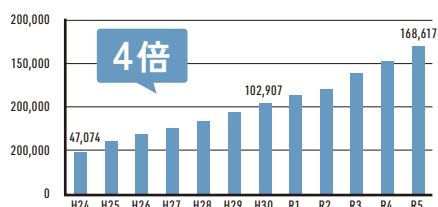
支援施設のニーズは年々高まり都市部を中心に利用者数、事業者数ともに増加（地方では施設がまだ不足）しており、今後は「量」から「質」へと求められる段階へ進んでいます。

Point!

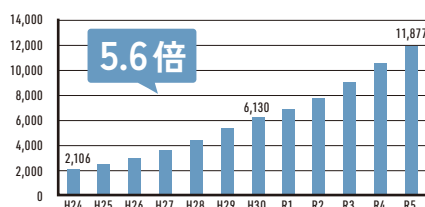
今後も需要は拡大

共働き世帯の増加、発達支援への関心の高まりにより、児童発達支援施設の役割は増々重要になります。「量から質」への転換期に求められるのは子どもたちを取り巻く環境の充実と、働きやすい施設づくりです。

利用者数の推移（一月平均：人）



事業所数の推移（一月平均：ヶ所）



開設成功に導く、3つの専門力

1

開設を確実に進める 申請・法規対応

児童発達支援施設は、面積・設備・諸室など細かな基準を満たす必要があります。豊富な実績でスムーズに開設を支援します。

2

子どもの成長を支える 療育の為の環境設計

木質空間による情緒安定、木の手触り、木の香り、自然光、風の流を感じ、安心できる居場所をつくれます。

3

経営を見据えた 運営支援型の設計

加算取得や補助金活用、将来の多機能化・メンテナンス性を見据えた計画。適正な工事費に抑え運営をサポート致します。

多角的な視点からの園舎設計・工事監理



自然素材による施設設計

構造・内装材に自然素材を使い、安心・安全で温かみのある園舎を提案します。子どもたちが楽しく登園し、様々な体験・経験を重ね非認知能力を高めます。



園庭

ゆとりある広さと木々を植え、起伏のある丘や砂場、水遊びの水盤等を設け、子どもたちが楽しみながら主体的に体を動かすことのできる環境を提案します。



静かな環境

音に過敏な子どもも多い為、室内は音の反響に配慮し静穏な環境を確保し、静かな場所で落ち着いて過ごせる居場所づくりに配慮します。



バリアフリー化

余裕ある床面積の確保、玄関やポーチなど段差のあるところにはスロープを設置します。室内扉も車椅子対応の引き戸などバリアフリー化とします。



働きやすい環境づくり

先生達との打合せを重ね、子どもたちの様子が見渡せる配置や、効率的な動線・収納計画など確認し、職員の負担軽減を図り、働きやすい環境を提案します。



工事監理の徹底

木造の設計においてとても重要なのが構造材となる材木の検査です。弊社では厳しい基準を設け、製材所及びプレカット工場にて品質検査を徹底しています。



木の温もりの中で一人ひとりの笑顔が輝く時間



走って転んでも安全安心な土の舗装とスロープ



自然と触れ合う体験を通して育まれる、小さな発見

児童発達支援事業所あおば

保育のまなざしを児童発達支援へ



訓練室 木の温もりに包まれた室内

■ 建物概要

施設名	児童発達支援事業所あおば
所在地	茨城県神栖市
工事種別	新築
構造	木造平屋建
敷地面積	999 m ²
建築面積	134 m ²
床面積	118 m ²



芝生張りのマウンドと水盤のある広々とした園庭



自然光が注ぎ込む明るいエントランスホール

計画のポイント

1

保育園との自然な交流

日常的に保育園の子どもたちと交流できる園庭。自然に触れあいが生まれる環境を作ります。



2

木の温もりに包まれた空間

県産材の杉・檜を使用し天井が高くのびのびした温かみのある空間です。



3

自然と触れ合う園庭

トンネルのある芝生のマウンドや井戸のある水盤など、子どもたちの感覚を刺激する園庭を計画しました。



4

安心して過ごせる場所

見通しの良い配置や動線計画、音の反響に配慮した静穏な環境をつくり、毎日楽しく安心して通える施設を作りました。



岩堀園長先生より

緑のアプローチから、安心と学びの場

萬徳寺保育園での歩みをつなぎ、児童発達支援事業所「あおば」を開設しました。あおばは、子どもたちにとって集団生活への大切な入り口です。一人ひとりの発達や個性を尊重し、夢中になれる遊びを通して、楽しみながら心と体の成長を育んでいます。思い切り遊び、挑戦し、友だちとの関わりを重ねる中で、「できた」という自信や安心感を積み重ねていきます。園舎は木の温もりを生かした、子どもたちが安心できる空間です。自然素材のやさしい雰囲気心が落ち着かせ、遊びや学びへの意欲を引き出します。子どもも保護者も、皆、笑顔になれる環境づくりを通して、地域とともに成長を支えてまいります。



遊戯室：子どもたちを包み込む木の架構が、安心感のある大きな空間をつくります

既存施設からのアプローチスロープ設置

子ども療育支援はらっぱ園（別棟増築）

45年にわたる療育の経験を未来につなげる環境づくり

図書コーナー：八溝杉で作ったオリジナルの本棚とベンチ

子供たちの居場所づくり

45年にわたり、茨城県の療育を支えてきた先駆的施設である「はらっぱ園」の増築計画。親子による療育支援プログラムをメインに行っている。手狭となった施設へ新たに遊戯室と諸室からなる別棟を増築した。

のびのびと遊ぶ場から落ち着いて過ごせる場まで多様な場所を生み出します。杉・檜を用いた自然素材の空間で、障がいをもつ子ども達が日々、楽しく過ごし将来に明るい希望をもてるような居場所づくりを目指した。

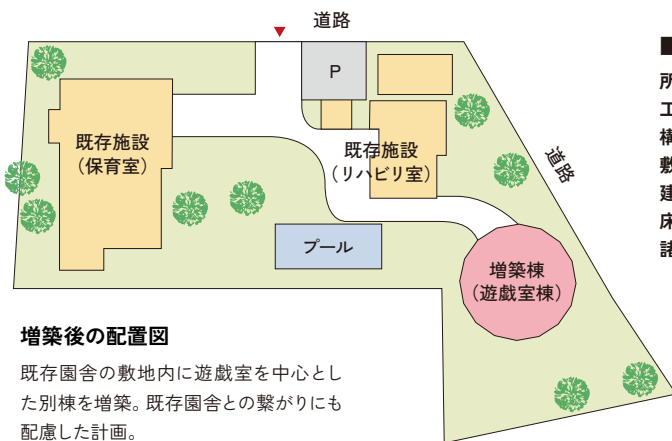
増築の背景と目的

既存施設の課題

- ・施設の老朽化が進んできた
- ・各諸室のスペースが手狭で使い勝手が悪い
- ・訓練室の天井高が低く運動プログラムが限定される
- ・研修会等を実施する場所がない

課題を解決する空間づくり

- ・木組みを現した高い天井の遊戯室で、ゆったりと身体を動かせる
- ・落ち着いて過ごす、木の香あふれる図書コーナーを新設
- ・トイレ・湯沸かし室を設置し、多用途に利用でき職員の使いやすさが向上



■ 建物概要

所在地 茨城県結城市
工事種別 別棟増築
構造 木造平屋建
敷地面積 1451 m²
建築面積 91.26 m²
床面積 89.84 m²
諸室 遊戯室・図書コーナー・トイレ・湯沸かし室・収納



是非、お気軽にご相談ください

ご相談は無料です

茨城県、千葉県・東京都・群馬県において、児童福祉施設の基本構想から設計監理まで数多く携ってきました。木造建築を中心に、子どもたちの成長と地域に愛される環境づくりを大切にしています。

児童福祉施設 実績44施設

安心の実績

保育園	29施設	児童発達支援施設	2施設
幼稚園	3施設	学童保育	2施設
こども園	6施設	子育て支援施設	2施設

